

Random writing

わくしま やすし

自分の好きな、かつ嫌いな詩がある。落ち込るととて
も聞けないう。こんな詩二度と聞けてやるが、と書く。
立ち直ると、ワリ針を落してしまひ、やはりいい詩だ
と書いてしまふ。

It makes no difference:

It makes no difference where I turn,

I can't get over you, and the fame still burns

It makes no difference night or day.

The shadow never seems to fade away

And the sun don't shine anymore.

And the rains pour down on my door.

Now there's no love as true as the love

That dies untold

But the crown that hangs so low before

Without your love I'm nothing at all like an empty hall

It's a lonely fall, since you've gone

It's a losing battle stampeding cattle

They rattle the walls,

And the sun don't shine anymore

And the rains pour down on my door.

Lick Dance Anthology #1.

この詩が冷めた気持ちと響かると、冷たいと思うのは、

やはり理屈が成り立たないと思ふのを覚える。

この前、リサイクルサーカスで試合をしたとき、平塚学院の

山口のショートが弾いた時、左足の親指と薬指が

ひん曲ってしまった。怪しい一瞬の瞬間であった。不思議な

手ので、ハーフタイムの時は、痛くてしょうがないのが愛を

感じる。手は、痛く感じるかたよりに思う。あんなに手を

でショートを受けた覚えがある。それは、あんなに

背中をまもめたままで、背筋を伸ばすようにして

左手の小指もがつかず、バスケで脱臼をしたので

やはり背中をまもめたまま、ちびさんとあねさん

とらって背中をまもめてやる。このため、ちびさんは

ギター弦を2弦まで外して押さえることができない。

あねさんもこうなるとは、困るので、今日、この頃、

休つく。痛くほど痛み続ける毎日である。

足は、ひどく変形してやる。ラグビーシューズを新しく

買ったがそのシューズが、あんなに痛むので、その所

ほど、靴擦れをおこしている。ユーチは、雨が降る

うと雪が降ると練習をさせる人だったので、靴擦れ、

ぐらひでは、休ませてもらふな。後輩には、ひどり脳震とうを起こして、3日間精神病院に入院して、その後2日も経たぬに練番士せも水たきもあつた。このよくなユーチであつたから、敬愛人自と『なんかの選田に居るか。』であつた。

今では、足は、違ふしくなが、その所に切らうとしてを切らぬにと思ふのは、何だか、この、敬愛人が、くつして居る。

あなげをよんで、戦つて居る、短くなる、あまりにも、スキーブーツ等、が、と、その、こと、を、末、士の、靴は、選田に、居る。居ると、いつ、か、あつた、事、なつた。

選田の、あなげ、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。その、人、は、あなげ、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。その、人、は、あなげ、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。

その、せ、で、その、人、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。その、人、は、あなげ、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。その、人、は、あなげ、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。

その、後、その、人、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。その、人、は、あなげ、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。その、人、は、あなげ、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。

その、後、その、人、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。その、人、は、あなげ、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。その、人、は、あなげ、を、よんで、居る、中、に、その、靴、を、使、つ、て、居る、人、に、あつた。

113113 野望に在ると(右に横を以てはる人ほ一人かオ)

野望を果す人とある人が、掲げる旗は、人ト衆は、右手で
、夕方衆は、右手で 掲つてしん。

113 奥にても、113 詩だAあと思ふ詩がある。

I shall be released. (Song in jail)

They say everything can be replaced.

They say every distance is not near.

So I remember every face of every man
who put me there.

They say every man needs protection

They say that every man must fail

But I swear I'm a big education

Some where to fight about that world

Now you're standing there in this lonely corner

A man who swears to not to blame

All day long I hear his shouting so loud

Just crying out of that he was framed.

I see my light become shining

From the west winds are least

Any day now, any day now

I shall be released. (Song in jail)